

祝 日本遺産 (Japan Heritage) 認定「第1号」

「信長公のおもてなし」が息づく 戦国城下町・岐阜



冷徹なイメージの信長公は、おもてなし上手だった!!

今年4月「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜が、「日本遺産」に認定されました。「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、平成27年度に文化庁が作った制度で、地域の歴史的魅力にあふれた数々の文化財をまとめて、日本の文化・伝統を語る「ストーリー」のことをいいます。第1号には「かかあ天下一群馬の絹物語—」や「灯(あか)り舞う半島 能登 ~熱狂のキリッ祭り~」など、岐阜市を含む18のストーリーが「日本遺産」に認定されました。「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜とは、どんなストーリーなのでしょうか。どうして、日本遺産に認定されたのでしょうか。

① 信長公が「岐阜」で行ったことは?

今から約450年前の戦国時代、織田信長公は井口と呼ばれた城や町を岐阜と名付け、岐阜城を拠点に天下統一を目指していました。信長公といえば、こわ〜いイメージがありますが、岐阜城やその城下町で行っていたのは戦ではなく、「手厚いおもてなし」でした。信長公は、武力で治めるだけでなく、文化の力で公家や商人、有力大名、イエズス会の宣教師など、力のある人たちをもてなし、仲間を増やしていきました。

② どこで、どんなおもてなしをしたの?

信長公は、金華山のふもとに「地上の楽園」と呼ばれる「山ろく居館」を造り、そこにお客様を招いて、建物や庭を見物してもらったり、能などの踊りや歌、オヤツ・食事などを楽しんでもらったりしました。軍事施設である「城」では、お客様に、山上からの景色を見物してもらったり、食事や音楽などを楽しんでもらったりしました。「長良川」では、お客様に、鶴飼観覧をしてもらったり、船遊びをしてもらったりして、鶴飼文化を楽しんでもらいました。



岐阜の城下町には、約1万人が住んでいて大変にぎわっていました。城下町の街路は、今も変わっていません。春には、岐阜まつりも行われました。



信長公は「鶴匠」という名称を与え、米十俵を授け、鶴飼文化を保護しました。

自然景観を活かした信長公のおもてなしの舞台は、世代を越えて受け継がれ、今もおもてなしの舞台となっている!!

山ろくの建物は、「宮殿」のようでした。信長公は、私のために、膳を運んだり、おかわりをよそってくださったりしました。山上からの眺めは絶景でした。信長公の素晴らしいおもてなしに感動して、ヨーロッパに手紙を書きました。信長公は「美濃へは何度でも訪れよ。」と声をかけてくださいました。



③ 日本遺産に認定された理由は?

信長公が形作った戦国時代の城・町・長良川の鶴飼文化は、城としての役割を終えた後も、世代を越えて大切に受け継がれ、今も岐阜の町に息づいているところに価値があると認められたからです。

取材協力：岐阜市教育委員会 社会教育課

いきいき! インリーダー

インリーダー研修会で、めあてをもっていきいきと活動しているみなさんの様子を紹介していきます。

本荘 (9/12)

シニアリーダーといっしょにKYTの学習をした後、「川わたし」や「パラシュート」などの遊びをしました。反省会では、シニアリーダーから「安全に楽しく遊べたね。」とほめてもらいました。

木田 (10/3)

牛乳パックを利用したクラフトをしました。さそりの標本、ブーメラン、グライダーの3つを作りました。仲間と相談しながら作り、完成すると飛ばして遊び、楽しみました。

市橋 (10/3)

市橋音頭の保存会の方から教わりながら、市橋音頭を踊りました。指先にまで精神を集中して踊ることで、とても美しい踊りに変わりました。新年子ども大会で披露する予定です。

日野 (10/11)

日野地域市民大運動会では、地域に伝わる日野太鼓をインリーダー生が演奏しました。中学生OBや保存会の方も一緒に演奏し、地域の伝統が引き継がれていると感じました。

城西 (10/17)

インリーダー生が「ぶんぶんゴマ」ブースを担当し、下学年の仲間にぶんぶん回す楽しさを伝えていました。うまく回ったときは歓声が大きく、互いに喜び合っていました。

長森西 (10/25)

6月20日に田植えをした稲を、農協職員や地域の方と一緒に刈りました。収穫したもち米は、11月29日の収穫祭で餅つきにします。インリーダー生も参加し、手伝います。



メヌエット、ディバルティメントの曲を演奏

第5回 地域&5校ふれあい交流会

岐阜北高等学校 吹奏楽部

文化祭で披露した作品3点を紹介

学園天国、ルパン三世のテーマ、キセキ、残酷な天使のテーゼ、Troublemakerの5曲を演奏

第5回 地域&5校ふれあい交流会

岐阜清流中学校 吹奏楽部

第5回 地域&5校ふれあい交流会 10/24

早田小学校、県立希望ヶ丘特別支援学校、岐阜清流中学校、県立岐阜北高等学校、県立岐阜商業高等学校の5校が集まるふれあい交流会がありました。

厚見ハートプロジェクト 9/3

厚見中学校の生徒が「おもしろ実験」ブースを開いていました。今回の実験はスライムづくりでした。厚見地域のたくさんの小学生の友だちで、とてもぎわっていました。

地域で輝く中高生

15ブロック クラフト

25ブロック みどり荘訪問

35ブロック ティーパート

45ブロック 清掃活動

55ブロック レクリエーションダンス

ジュニアリーダー研修会

ジュニアリーダークラブは、各ブロックで毎月1回ジュニアリーダー研修会を行っています。レクリエーションダンス、クラフト、障がい者施設の訪問、ディベート、清掃活動など様々な研修を通して、技能を高めています。

CTH活動 8/2

CTHとは、クリーンタウン東長良(清掃活動)のことです。東長良中学校の地域生徒会が中心となって進め、小学生も含めた地域の方が参加し、街中がとてきれいなになりました。

祭いでまい中山道合渡宿 10/25

岐阜西中学校の生徒がスタッフとして参加しました。小学生は時代行列で農民みこしなどに参加しました。地域の伝統行事の継承に小中学生が大きな役割を担っていました。

学校であそぼっけ 7/25

梅林中学校の生徒50人が、かき氷やお化け屋敷などのブースの手伝いをしました。小学生の頃の経験が忘れられず、中学生スタッフとして参加した人がいました。

芥見東市民運動会 10/18

藍川東中学校の生徒がスタッフとして参加しました。運動会の運営を支えと共、競技トラックの脇から「がんばれ!」と励ましの声をかけるなど、盛り上げていました。